

一般財団法人 研究学園都市コミュニティケーブルサービス  
第39回 放送番組審議会 議事録

- 1 日時 平成31年2月28日(木) 10時30分～12時00分  
2 場所 オークラフロンティアホテルつくば アネックス2F夕映の間  
3 出席者 中山 伸一会長、生田目 美紀委員、鷺田 美加委員、石塚 敏之委員、  
中川 伸一委員  
A C C S  
高田理事長、石川副理事長、小山理事、小平理事、渡辺放送部長、  
小形放送第1課長、小野放送第2課長

#### 4 議案の審議経過等

- (1) 会議に先立ち、定足数の確認を行ったところ、出席委員は5名であり、委員総数8名の過半数を超えていることから、放送番組審議会規定第4条1項の規定により、本審議会は有効に成立していることを確認した。
- (2) 議事に入る前に、高田理事長から挨拶があった。その中でA C C Sの放送事業の現状と今後について、①コミュニティチャンネルは地域に密着した放送、多チャンネルはよりサービスに親しんでもらう施策を行っている②BS4K8Kについては、昨年12月1日にサービスを始め、4月1日から本格サービスを始める。世間一般では盛り上がりが見えつつあるが、ケーブルテレビを見てもらう契機になる一との考えを示した。
- (3) 中山会長の進行で議事に移り、まず昨年開催した第38回放送番組審議会の議事録の内容を確認した(議事1)。続いて、平成30年度に制作・放送した中から2番組のVTR(20分)を上映し、「A C C Sコミュニティチャンネル放送について」の意見交換を行った(議事2)。その後、「多チャンネル放送番組等について」を意見交換した(議事3)。

#### 5 意見交換

##### (1) A C C Sコミュニティチャンネル放送について(議事2)

中川委員 (上映された番組)世界湖沼会議の番組は15分で長く感じた。テーマが普段の生活とは馴染みのないもの。啓発にはなると思うが。また、外国の方は外国語で話されており和訳のテロップは必要。

石塚委員 事前配布のDVDを見て市内には多様な価値観を持った人がいると感じた。

つくばは多様な価値観を持った多くの人が転入・転出するので、その人たちが情報を得られるのは、ケーブルテレビからだ。個別の番組の品質の問題とともに、横串をどう通すかということについて、ACCISには大いに期待している。

鷺田委員 私はケーブルテレビが見られるエリアなので恵まれている。事前に送られたDVDに、秀峰筑波義務教育学校入学式があった。この地域はエリア外。ケーブルが届かない地域でも違う形で見られる環境があると、番組に出演される人の気持ちが高まると思う。YouTubeを活用されており、メディアをまたぎ地域の中で映像としては無敵な存在感を放っている。「つくば発 熱中スポーツ」のスポーツ吹き矢は市民が出演している。番組に出るということは自分がヒーロー、ヒロインになれるいい機会だ。市民が出演できる番組を増やしてほしい。

生田目委員 コミュニティチャンネルは、取材の切り口が地域密着だけではなく、市民目線なのがよい。編集も上手で内容が伝わりやすい。送付されたDVDのダイジェスト版では字幕がついており、お茶碗を洗いながらでも内容がわかった。しかし、今日上映された番組には字幕が少なかった。字幕があったほうが、お年寄りや忙しい主婦なども内容が伝わる。番組には地元の方が貴重な意見を言っていたが素人の発言は聞き取りにくい。発言の趣旨だけでも字幕にしてほしい。自分は公務員宿舎が戸建て住宅に変わっていく地域に住んでいるが、アンテナの家を見ると残念に思う。新築時にケーブルを引き込んでもらう活動をしたらどうか。

中山会長 最初のACCISは番組が出来ればよいという状況だったが、最近は番組の質を見てもいい時期になってきたと思うので、今回は番組全体を見ていただいた。内容はしっかり作られているが、細かいところが気になった。湖沼会議は出展者の視点で捉えていたが、参加者インタビューがあればよかった。また結城紬が出てきたが、湖沼会議とどうつながるのかわからない。一言説明がほしかった。短いニュースなら断片的なイメージを見せれば伝わるが、14分と長くなると、ストーリーを作らないとわからない番組になる。今後、大きなイベントの取材した番組のときには気をつけてほしい。湖沼会議の前後に関連する番組は作ったのか？

小野課長 特集は組んでない、事前に湖沼会議に関するイベントをニュースとして放送した。

中山会長 番組に事前取材の映像を数分でも入れたほうがいい。例えば、小学校を事前

に取材したり、湖沼会議の趣旨を事前にインタビューしたりして、本編の前に見せたらどうか。湖沼会議は、一般市民の関心が高まらなかったと思う。テレビは広告媒体の一つだ。認知度の低いイベントについては、ACCSSとして事前にもっと情報発信をしてもよかった。湖沼会議の趣旨や取り上げられたテーマをもう少し掘り下げた方がよかった。

小野課長 事前に霞ヶ浦環境科学センターを取材して単発では放送したが、そのような意気込みや、会議のその後の話題をまけて放送した方がよかった。また全体を取り上げると間延びするので、一つのテーマを追い求める形がよかったかもしれない。

中山会長 県政番組は、レポーターを一人立てて連続して動いているという意味で、視聴者視点が常に継続している。5分と短い番組なのであいうやり方でいいだろう。しかし、長い番組を作るときは、どういうアプローチで作るのか、考えてほしい。

鷺田委員 コミュニティチャンネルで再放送が多いのは、いいと思う。繰り返し放送してくれると深く伝わる。昨年、著名なアーティストが出演したワンダーフェスは、私が実行委員として関わったイベントだが、かなり安い予算だった。これは、ワンダーフェスが著名なアーティストの新人時代に販促に力を入れてきたから実現できた。根木マリサさんのジャズ番組が始まったが、番組に若いアーティストを出演させるなど、若い力を育ててほしい。

生田目委員 デザインの立場から細かいことをお伝えしたい。スタジオのアナウンサーの目線が気になるので、目線が合うところに原稿を出して準備してあげていただきたい。映像表現として、帯状のものが左右から来て合体するのは効果があるが、人の顔の時はやめたほうがいい。明朝体のテロップは読みにくいので避ける。また文字を出すときは読む側から流してほしい。

## (2) 多チャンネル放送番組等について（議事3）

中川委員 多チャンネルのチャンネルガイドは番組が多いため字が細かく、番組を探すのが難しい。ガイド誌の前半の特集は入りやすいが、後ろの細かい番組表はなんとかしてほしい。

石塚委員 帯域確保とベーシックサービスのハイビジョン化は矛盾していないか？

小形課長 以前は一つの番組を標準画質とハイビジョン画質の二つのチャンネルで放

送し、標準画質をベーシックサービス、ハイビジョン画質をプレミアムサービス放送と分けていた。今回、標準画質の放送を止め、ベーシックサービスでもプレミアムサービスと同じハイビジョン画質を放送することにした。標準画質の放送を止めると帯域が空くので4K放送ができる。

石塚委員 通常の光回線を引けば（ACCSが）見られるということか。

理事長 FTTHエリアは約40%だが、お客様がHFCから切り替えてくれないと光回線にならない。切り替えるよう営業はしているが、再送信のみの人にはFTTHのメリットが感じられない人もいるので、まだHFCが残っている。なお他社ではNTTの光回線を使っているところが若干あるが、ACCSは独自回線を引いている。

鷲田委員 多チャンネル放送はたくさんあるが、私は3つしか見ていない。そのような人が多いと思う。4K8Kと聞いても、私は機械に弱いので、何がいいのかわからない。私のような人間には、4K8Kでよりきれいになるなど、（チラシに）結果が絵になっているとピンとくる。

渡辺部長 これを説明するのは難しい。ただ4K放送は通常の番組の4倍の情報をもっているのが非常に細かい画像になる。4Kのより細かい画質をリアルに表現できる番組を放送局が作ればはっきりわかるだろうが、そこまでいってない。ハイビジョンと4K番組を並べてみても、それほどわからない。放送する側で4Kの特徴を捉えた番組を早く作ってほしいと望んでいる。

理事長 NHKの4K番組表を見ても、まだコンテンツが少ない。

石塚委員 4Kにするポイントは東京オリンピックの開催だろうか？

理事長 総務省が以前示した方針では、オリンピックの開催時点で4K対応テレビの普及率は50%が目標としている。

生田目委員 4Kに対応したときACCSにはどんなメリットがあるのか？ 客が増えるということか？

副理事長 若者のテレビ離れが進んでいるので、4K8Kを契機に失地回復を目指したい。

理事長 テレビ業界としてそういう話があるし、またケーブルテレビとしてはアンテ

ナがなくても4Kが見られる、という点をアピールしたい。

生田目委員 私はF T T Hエリアに住んでいるが、アンテナの家が多い。そういうところにケーブルを引いてもらうにはどうしたらいいか。

理事長 住宅開発をするデベロッパーには、ケーブルテレビを引き込むようお願いしている。しかし、一緒にやってくれないデベロッパーもいる。

石塚委員 つくば市は年間3200人増えており、インフラ的には新たな投資をしなくても、T X沿線や住み替えが進む公務員宿舎の周囲は大丈夫。コストも含めてよりよい状況が得られる地域なのか、一大キャンペーンをしてはどうか。アンテナを立てるのはコストの面も問題があるので、そういう情報を新しく移ってきた人に発信できるといい。ハウスメーカーのメニューにはA C C Sがなかったので、ハウスメーカーから攻めていったらどうか。

中山会長 今後、A C C Sの番組作りで4Kの割合はどうなるのか。4Kは解像度だけでなく色の範囲も格段に広がるので見た目が違うと聞いている。A C C Sの役目の一つは地域情報をアーカイブとして蓄積することだが、4Kのコンテンツについてどう考えているのか？

渡辺部長 現状、一部の素材は4Kカメラで収録している。4K用の地デジチューナーがテレビに内蔵されてきたら、A C C Sとしては対応するつもりだ。

中山会長 ニュースは4Kの必要はないだろうが、保存する番組はぜひ4Kで作ることをお願いしたい。

小野課長 データ量が莫大になり編集機も対応できないので、サーバーを増強しないとコミュニティチャンネルの4Kは制作できない。

理事長 エリア拡大については、5、6年前に北条地区で試みたが実現しなかった。現在はT X沿線に絞ってエリアを増やしている。他のところは客が見込めないで残念だが増やしていない。その分、YouTubeに番組を載せている。4K動画も載せている。

中山会長 A C C Sに接しない人にYouTubeを教えると、A C C Sに加入するきっかけになるのでは。一時期ビデオオンデマンドが流行ったが、質のいいものをYouTubeに載せるのは、アーカイブとして重要だ。

理事長 来年度は、G20貿易・デジタル経済大臣会合と茨城国体があるので、しっかりやりたい。国体は、県内のケーブルテレビと連携して番組を作る予定だ。

中山会長 今回は、番組全体を見てもらうことで、細かい意見をうかがえた。ACCSSにはより良い番組を作るとともに、内容が伝わるよう細かなところに配慮のある番組にしてほしい。多くの番組を作っていける状況になっているので、今後がんばってほしい。